

下久保ダムの現況と今後の見通しについて



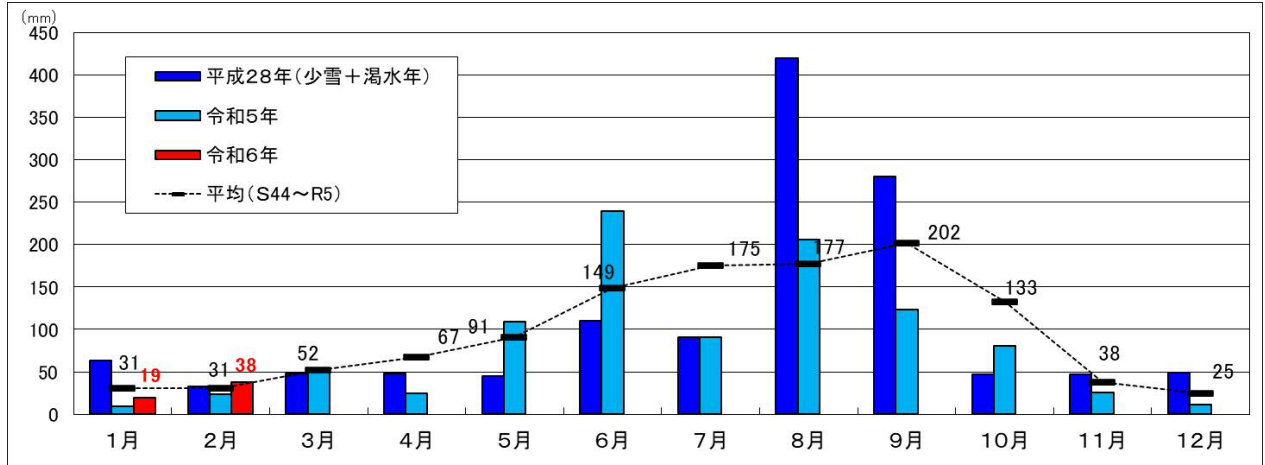
下久保ダムの貯水状況（令和6年2月21日撮影）

令和6年2月22日

1. 下久保ダム現状

(1) 下久保ダム流域の降水量

下久保ダム流域の令和5年の降水量は、過去の平均値1,171mm（昭和44年～令和5年の55年間の平均）の85%の997mmでした。令和5年7月～12月の降水量は、過去の平均値750mmの72%の538mmでした。（図－1、表－1）



図－1 下久保ダム流域平均降水量

表－1 下久保ダム流域平均降水量

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平均(S44~R5)	31	31	52	67	91	149	175	177	202	133	38	25	1,171
平成28年(少雪+渇水年)	63	33	48	48	45	110	91	420	281	47	47	49	1,282
平均比(%)	204	106	93	71	49	74	52	238	139	35	123	195	110
令和5年	10	24	53	25	109	240	91	206	123	80	26	12	997
平均比(%)	31	102	102	37	120	161	52	116	61	60	68	46	85
令和6年	19	38											57
平均比(%)	62	122											—

利根川取水制限実施月（一時緩和含む）
 数値は令和6年2月21日迄の速報値

(2) 下久保ダムの貯水状況等

下久保ダムの貯水量は、令和5年7月からの神流川向け補給のため貯水量は低下し、その後も少雨の影響により大幅な回復には至っておらず、令和6年2月22日0時時点の貯水量は4,187万m³（貯水率約35%）となっています。（図-2）

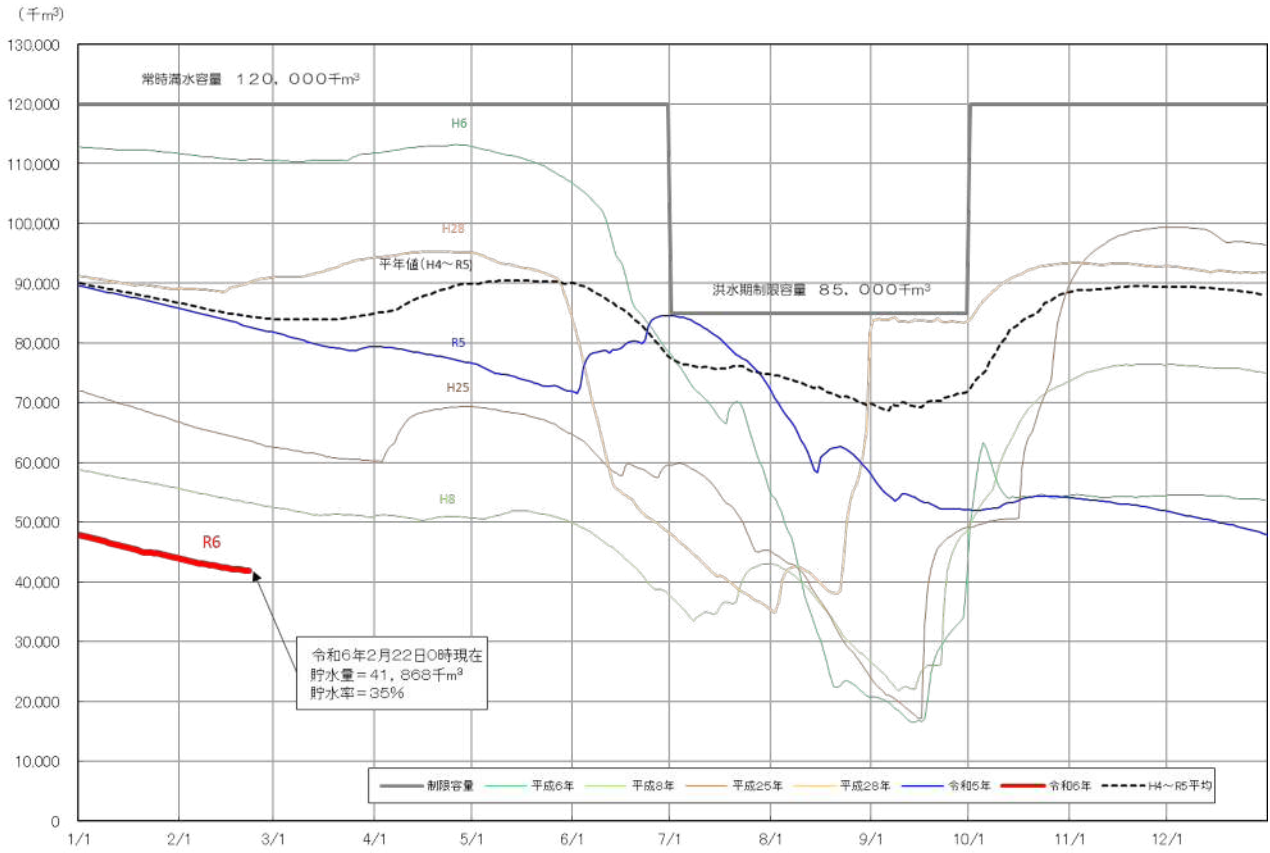


図-2 下久保ダム貯水量図

2. 気象予報（気象庁ホームページより）

令和6年2月15日気象庁発表の関東甲信地方の1ヶ月予報（令和6年2月17日から令和6年3月16日までの見通し）によると、向こう1ヶ月の気温は「高い」の確率が60%、降水量は「多い」の確率が50%となっています。

また、令和6年2月20日気象庁発表の3ヶ月予報（令和6年3月から令和6年5月までの見通し）によると、向こう3ヶ月の気温は「高い」の確率が40%、降水量は「多い」の確率が30%となっています。

予報	地方区分	各階級の確率(%)					
1ヶ月予報	関東甲信地方	気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)					
		気温	関東甲信地方	向こう1か月 02/17~03/16	10	30	60
				1週目 02/17~02/23	10	10	80
				2週目 02/24~03/01	30	50	20
				3~4週目 03/02~03/15	30	30	40
		降水量	関東甲信地方	向こう1か月 02/17~03/16	20	30	50
		日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 02/17~03/16	50	30	20
3ヶ月予報	関東甲信地方	気温、降水量の各階級の確率(%)					
		気温	関東甲信地方	03月~05月	20	40	40
				03月	30	30	40
				04月	30	30	40
				05月	20	40	40
		降水量	関東甲信地方	03月~05月	30	40	30
				03月	30	40	30
				04月	30	40	30
05月	30			40	30		

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

現状と今後の対応

(1) 現状

- ・令和5年の下久保ダム流域では、6月初旬に接近した台風2号の影響による降雨で、下久保ダムは洪水期の開始(7月1日～)を貯水率100%で迎えました。
- ・下久保ダム流域の令和5年の降水量は、過去の平均値1,171mm(昭和44年～令和5年の55年間の平均)の85%の997mmでした。令和5年7月～12月の降水量は、過去の平均値750mmの72%の538mmでした。
- ・下久保ダムの貯水量は、少雨傾向により継続した補給のため貯水量は低下し、その後も少雨の影響により大幅な回復には至っておらず、令和6年2月22日0時時点の貯水量は4,187万m³(貯水率約35%)となっています。

(2) 今後の見通し

- ・2月15日に気象庁より発表された向こう1ヶ月の見通しでは、降水量は平年よりも「多い」確率が50%となっているものの、気温については「高い」確率が60%の予報になっています。
- ・下久保ダム流域では、5月から農業用水の取水が本格化するため、ダムから補給する必要が生じ、ダムの貯水量の減少が加速することが予想されます。

(3) 今後の対応

- ・令和6年2月22日に開催した利根川水系神流川における水利使用者会議(臨時)にて10%の取水制限の実施について協議し、限りある水資源を有効利用するため、3月1日より10%取水制限を実施することとなりました。今後も、降雨の状況を確認しつつ、限りある水資源の有効利用のため、きめ細やかな運用を行っていきます。
- ・神流川に係る水の利用者に対して、節水への取り組みを促すためのポスターを作成し、幅広い広報活動を実施することとなりました。